

# 10月

## みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！  
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、  
話題や内容は実に多彩。  
どんだん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

6日

(日曜日)

話者：三尾稔（国立民族学博物館 准教授）  
話題：インドの婚礼のいま  
会場：本館展示場（ナビひろば）

13日

(日曜日)

話者：野林厚志（国立民族学博物館 教授）  
話題：【企画展関連】台湾民族事情  
会場：本館展示場（ナビひろば）

20日

(日曜日)

話者：福岡正太（国立民族学博物館 准教授）  
話題：東南アジアのゴング文化  
会場：本館展示場（ナビひろば）

27日

(日曜日)

話者：金田純平（国立民族学博物館 機関研究員）  
話題：笑い話を分析する一関西の女性の面白さとは  
会場：本館展示場（ナビひろば）

### 1年間みんなくに何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引  
◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引  
◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。  
詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

### 編集後記

人を殺すための道具が、これほどお茶目に変身できるのか。

出口の見えない戦いが続いている地域が世界にはまだまだあるが、企画展を見て一抹の希望を感じた。憎しみを解体し、命を溶接する工程に関わられた人びとに心から敬意を表したい。武器をアートにするのも、アートを武器に病や災いと闘うのも、結局、遊び心が肝心なのだと思う。

8月3日に亡くなられた本館の近藤雅樹教授も、遊び心に共鳴される方であった。近藤氏がかかれた文章やイラストには、しゃれっけがにじみ出ている。みんなくでの最後の大事な仕事であった特別展「屋根裏部屋の博物館」の開幕を目前にして、無念の逝去。実行委員やスタッフは氏の遺志を継いで、開幕までの限られた時間と残された作業に果敢に立ち向かい、今まさに弔い合戦を繰り広げている。私も編集部とともに、追悼の意をこめて、次号の渋沢敬三特集を近藤氏に喜んでいただけそうな、味わいのある号に仕上げたい。(山中由里子)

- 表紙 「ギターを弾く男」(The Guitarist) 標本番号:H0274168  
クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター) 2012年制作  
国立民族学博物館所蔵、地域:モザンビーク、マップ

### 次号の予告

特集

### 渋沢敬三と屋根裏部屋の仲間たち

### 月刊みんなく 2013年10月号

第37巻第10号通巻第433号 2013年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 八杉佳穂  
編集委員 山中由里子(編集長) 櫻永真佐夫 久保正敏  
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志

編集アドバイザー 山内直樹  
デザイン 宮谷一欒  
制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
印刷 日本写真印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
お願いします。  
\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

